

## 逗子市「モルック」見学して感じた事

報告；林 但

1. 日時；2023年1月29日（日） 13:00～14:30
2. 場所；逗子アリーナ うみかぜ広場
3. だれ；逗子 うみかぜクラブ4名と子供1名
4. 目的；逗子市が力を入れているニュースポーツに「モルック」がある。以前から「時間を作り見学に来ませんか」と松井会長から声をかけていただいていた。なぜこの種目、普及の方法はどうされているか確認したく伺った。

5. 内容；逗子市が力を入れているモルックの体験・練習会に参加したので報告します。

(1)はじめ毎月第一日曜日にやっていると聞いていたが、今では毎週日曜日の午後から参加できるメンバーが来てモルックを行っているとのこと。

中心参加メンバーのほとんどがスポーツ推進委員で、総合型地域スポーツクラブうみかぜクラブの運営に係わっているとのこと。

(2)通常の参加者は5, 6名らしい、でも毎週継続していることは普及の面でよい。参加費は無料  
伺った日もそばを通る人に「やってみませんか」と声をかけておられ数人が実施。

(3)初めて2年くらいといわれたが結構上手（遠くに1本も狙って倒す）、教え方・説明もうまい。

(4)関係者に質問しました

質問1 なぜモルックですか？ 費用が安い、手軽、誰でもできるからですか？

回答1. モルックを始めたきっかけはTVで面白い競技をやっているよとの情報から始まりました。ちょうどコロナの真最中で屋内スポーツはタブーとされ大声を出すことが禁止されていました。

みんなうつうつとしていた時期ですね。情報として台湾では屋外での数人で集まってのスポーツは許可をされているという話を聞き、このコロナ禍での競技として試そうということになりました。

①道具代が安価②体力差に関係なく誰でもできる③おじいちゃんと孫とか年代を超えて楽しめ交流ができる④コロナ禍で屋外の競技で安全に出来る⑤広い場所は必要ない、公園でできる。

質問2 普及の方法は うみかぜクラブですか、協議会でも研修や体験会行っていますか？

回答2 普及は推進委員協議会だと思っています。

こちらから積極的に動くのが推進委員でうみかぜクラブは待の態勢だと思います。

もちろん、推進委員の研修会や担当する行事には必ず行っています。

現在 私たちの活動を元に小学校がモルックを始めたりしていますので広まりつつあると思います



モルック



子供さんは少し前で（幼児向け特別ルール柔軟に）

モルックはフィンランドの家庭ゲームでお客様さんが来ると白樺の木を切って遊ぶ

6. 感じた事。

(1)継続的にうみかぜ広場で日曜日、13:00～14:30 実施し体験と広報活動。ひとつの手段と良い事例見学できた。

(2)横須賀市の中でも学区ごとグラウンド・ゴルフやボッチャなど同様にやっているところがある。地道に進めることの大切さを学んだ。

以上